

228x216x 寺田大樹

Introduction

最近、就職活動で、勤務地を考えたときに、都道府県ごとのデータ、例えばどこの都道府県の一番人口が多いか？などの単体のデータは知っているが、それぞれの相関関係は知らなかったり、そもそも知っているデータも少なく、特に地方のことは全然知らないことに気がつき、調べてみたいと思ったのがきっかけです。

Method

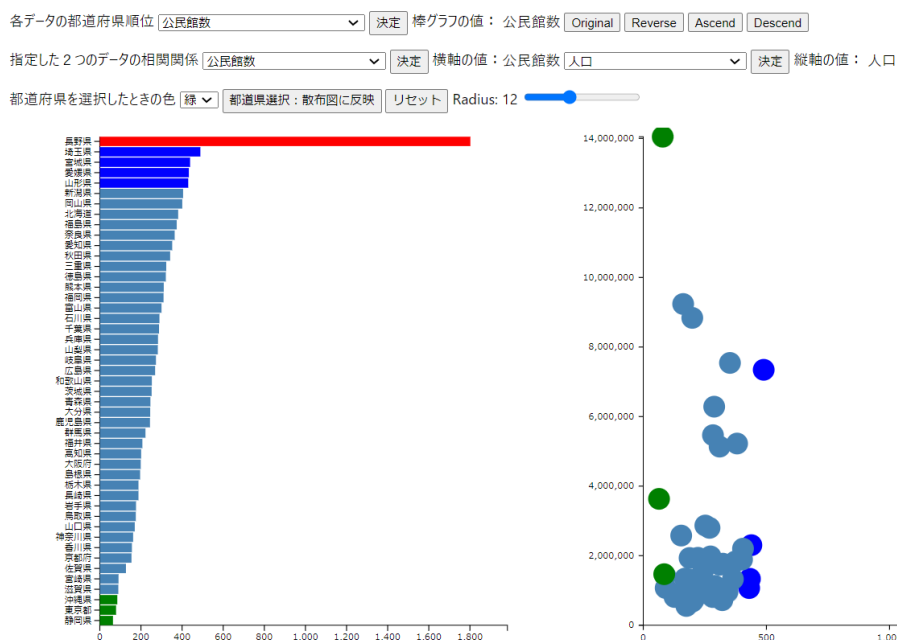
可視化の方法としては様々なデータの大小は棒グラフで、ある2つのデータの相関関係は散布図を使用しました。

データを昇順、降順に並び替える事で、大小の比較を簡単にしました。

特に棒グラフで気になった都道府県は、選択することで色を変更できプロットするデータを変更しても比較できるようにしました。また、棒グラフで選択した都道府県を散布図に反映することでよりわかりやすく可視化することを目指しました。

Result

FinalTask(228x216x):都道府県ごとの様々なデータ比較



データの出典：独立行政法人統計センターSSDSE（教育用標準データセット）<https://www.nstac.go.jp/use/literacy/ssdse/>（一部変更）

Discussion

様々なデータを可視化することで知らない発見があり、とても興味深かったです。

例えば、図の可視化は、棒グラフが公民館の数、散布図の縦軸が人口、横軸が公民館の数です。

棒グラフを見ただけで長野県がとて多いことは容易に分かりますが、散布図によって人口との相関を可視化すると、やはり長野県が多いこととあまり人口との相関が見られないことが分かり興味深かったです。

なぜ多いのか気になり調べてみたところ、長野県の歴史的背景があるそうです。具体的には戦後の公民館は「民主主義の学校」という狙いがあったそうで、教育熱心、自治を目指す運動が盛んだったことが下地になったそうです。(参考1)

Conclusion

データの数字をそのまま見たり、1位の県しか見なかったら気がつかなかった様なことが可視化によって気がついたり、考えたりするきっかけになったように思います。

Reference

(参考1)【特集】設置数全国1位 信州は"公民館王国" 3800館以上！？背景に歴史と県民性 <https://www.nbs-tv.co.jp/news/articles/2021090400000001.php>